

平成 30 年度
伊勢市わがまち写真コンクール
入賞作品集



平成30年度「伊勢市わがまち写真コンクール」審査結果

【最優秀賞】

学校名	学年	氏名	作品名	場所
—	—	山下 和宏	タイムスリップ	伊勢市河崎

【優秀賞】

学校名	学年	氏名	作品名	場所
—	—	門谷 若次	大鳥居と光跡	徴古館近く
—	—	橋上 裕	早朝の宇治山田駅構内	宇治山田駅構内
—	—	東出 幸子	境楠	宮川堤

【入選】

学校名	学年	氏名	作品名	場所
—	—	上田 ありさ	ここはどこほそみちじゃ	横輪町
—	—	上田 和夫	元	横輪町
—	—	上山 智子	旧山田郵便局電話分室	旧山田郵便局跡
—	—	城山 綾乃	春の散歩	おはらい町
—	—	高村 勝	雨の外宮参道	伊勢市本町
—	—	中世古 健吾	冬の月の出	伊勢市二見町江の二見興玉神社前に見える夫婦岩
—	—	山口 一明	大注連縄張替え神事	二見町
—	—	山崎 明彦	散歩道	浦田駐車場河川敷
—	—	山本 理恵	天空のポスト	朝熊山頂展望台
宇治山田商業高校	2年	福森 悠季子	道	五十鈴川周辺
宇治山田商業高校	3年	山本 瑞貴	神宮神田	神宮神田

平成30年度「伊勢市わがまち写真コンクール」入賞作品集

(総評)

このコンクールの審査要項には、「景観に親しみを持ち、大切に気づき、新たに発見してもらうことを目的とし…」とあります。カメラを持って「わがまち=伊勢」を見つめ直すことによって、その景観や風土に親しみがわき、それを残しておくことの大切さに気づき、さらに歴史や風土や人々の生活のあり様を再発見することにもつながり、それが「わがまち=伊勢」への郷土愛を育む。この写真コンクールの大切な意義はそういうところにあるということでしょう。

私が選考をさせていただくようになって今年で三年目になりますが、年々作品のレベルは向上しています。「審査基準」には「テーマに対応」していること、「表現に工夫がされていること」という二点が挙げられていますが、今年はそれらの基準をしっかりと踏まえた秀作が数多く見られました。

最優秀賞になった『タイムスリップ』や、優秀賞の『早朝の宇治山田駅構内』、同じく優秀賞の『大鳥居と光跡』などは、普段見慣れた風景を夜間に見つめ直したり、特殊なレンズによって撮影したり、長時間露光によって描写したりと、様々な「表現の工夫」がなされています。また優秀賞の『堺楠』は、普段見慣れた風景を「カメラの眼」で見直すことによって、歴史への想いやその景観への親しみが表現されています。

さらに、惜しくも入賞を逸した作品の中にも多様な表現の工夫がなされ、わがまち=伊勢を新しい視点で見つめておられる写真が数多くありました。それら応募作品を見せていただいて私は、風景が「風景を見る眼」を作り、また「風景を見る眼」が風景を作る、ということを感じたのでした。

来年度も、ぜひ周りの方々にも呼びかけていただき、このコンクールに数多くの応募があることを願います。

中西 篤行

【最優秀賞】



タイムスリップ

山下 和宏

(撮影場所)

伊勢市河崎

(撮影理由・想い)

昔ながらの街並みの残る河崎の商人館通り。夜、人通りもなくなり街灯に浮かぶ町並みは、昭和の香りを一層ノスタルジックに漂わせているようです。

(選評)

山下さんは、伊勢市に住む人なら誰もが知っている河崎商人館通りを撮影しておられます。誰もが知っている場所ではありますが、しかし夜間に撮影することによっていつもの町並みが昼間とはまったく違う相貌を現出させてくれています。山下さんがコメントしておられるとおり「昭和の香り」をノスタルジックに漂わせている魅力的な映像になりました。私たちが何気なく通り過ぎてしまうこの町並みが、山下さんのカメラワークによって「新たに発見された」と言っているのではないのでしょうか。

【優秀賞】

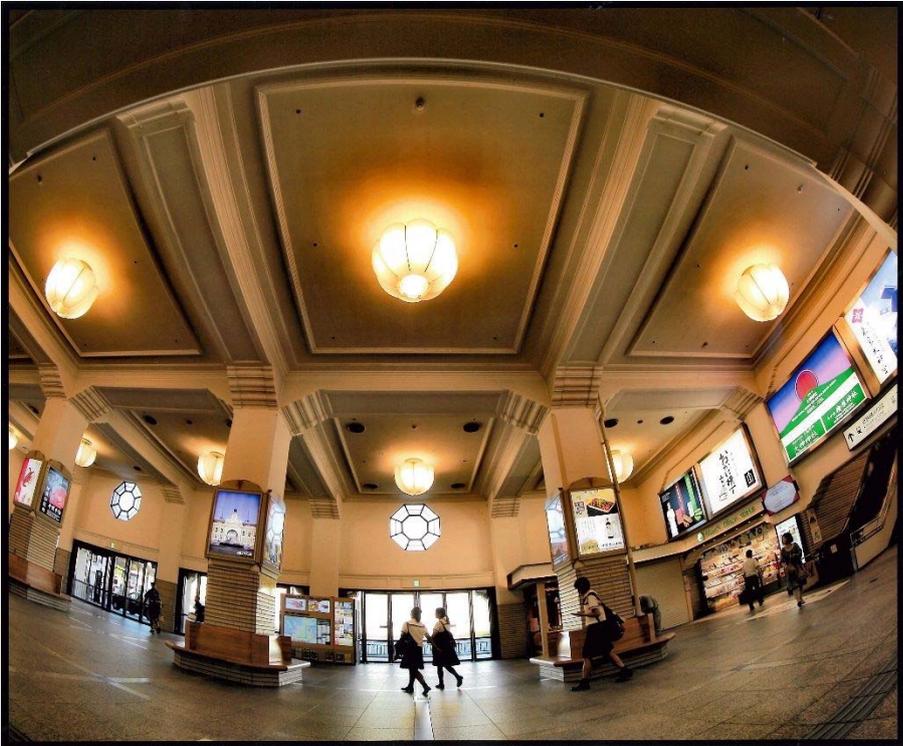
	大鳥居と光跡
	門谷 若次
	(撮影場所) 徴古館近く
	(撮影理由・想い) 存在感の薄い大鳥居、 今一度目を引くように と撮ってみました。

(選評)

御幸道路、神宮文庫前あたりにある大鳥居だと思いますが、高速道路ができてからは、門谷さんのコメントにもあるとおり「存在感が薄くなってしまった」ような気がします。

門谷さんは、長時間露光で車の光跡を写し込むという表現の工夫によって、その大鳥居の存在感を蘇らそうしておられます。この写真には、撮影場所の選定、露光時間の決定など、さまざまな表現の苦勞が感じられますが、そうした門谷さんのカメラワークによって、この大鳥居の存在感が見事に蘇ったのではないのでしょうか。この秀作を産んだ根源には、門谷さんの郷土・伊勢への愛情を感じるのは私だけでしょうか。ともあれ、そのご努力に敬意を表したいと思います。

【優秀賞】

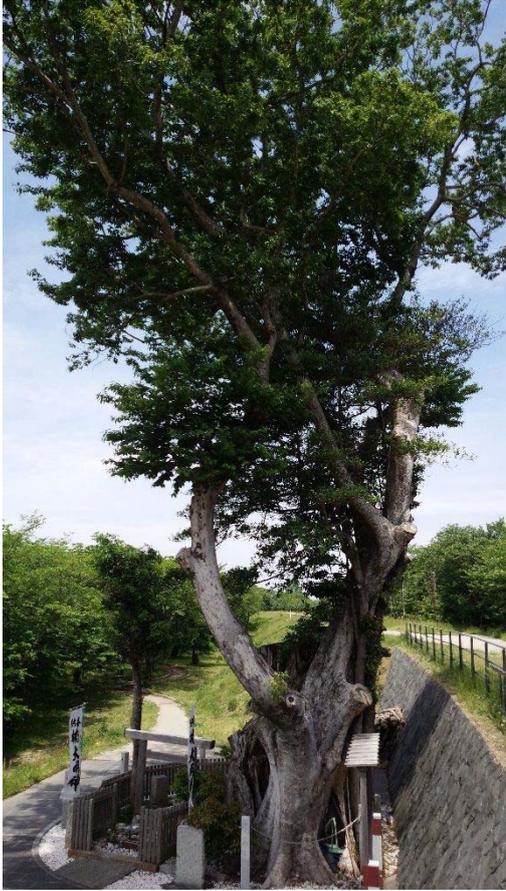
	<h3>早朝の 宇治山田駅構内</h3>
	橋上 裕
	(撮影場所) 宇治山田駅構内
	(撮影理由・想い) 1931 開業・2001 年、 国の登録有形文化財に 登録。今もそのおかげ があり、久野節の設計に よる（昭和初期）近代建 築である。 第1回中部の駅100選に もえらばれている。

(選評)

数十年の歴史を刻んだ近鉄「宇治山田駅」の構内を撮った写真ですが、この駅舎は、橋上さんのコメントにあるように、国の登録有形文化財になっており、また1954年に「伊勢市」になる以前の「宇治山田市」をその駅名に残している貴重な建築物でもあります。橋上さんはその内側から、いわゆる「魚眼レンズ」によって駅の構内を見事に写し出して見せてくれました。

特殊なレンズを使った場合、その描写の奇抜さや面白さに頼りがちになりますが、この写真においては歴史的建造物である駅の構内を隅々まで写し出すための極めて適切なレンズワークだといえるでしょう。早朝の通勤、通学の人々も巧く配置されていて、魅力的な映像になったと思います。

【優秀賞】

	境 楠
	東出 幸子
	(撮影場所) 宮川堤
	(撮影理由・想い) 昔は中島町と宮川町との境界として植えられた境楠。 青空にまっすぐ伸びる雄姿がとても清々しいです。

(選評)

この楠木は「中島町と宮川町との境界として植えられた」とのこと、その木の根元には祠が祀られています。楠木は防虫剤に使われたり、昔は船材として使われたりして、日本人にとって大切な資材だったので、日本各地には楠木が神社の「御神体」とされているところが数多くあります。

東出さんはこの「堺楠」に家族や親しい友人のような優しい眼ざしを注ぎ、愛おしむように撮っておられます。まるでこの楠木とお話しをしているかのようで、この木への愛情すら感じられます。

「青空にまっすぐ伸びる雄姿がとても清々しい」とコメントされていますが、いつも見慣れている身近な素材を「写真の眼」で見つめ直すことによってその「大切さに気づき、新たな発見」がなされている、まさにこのコンクールの趣旨にピッタリの秀作だと思います。

【入選】

	ここはどこのほそみちじゃ
	上田 ありさ
	(撮影場所) 伊勢市横輪町
	(撮影理由・想い) 横輪町のひなびたどことなく懐かしい感じのする風景と想いで撮影しました。

	元
	上田 和夫
	(撮影場所) 横輪町
	(撮影理由・想い) 日本で横輪町にのみに存在する横輪桜です。横輪桜はヤマザクラが突然変異したものといわれ、約150年前にこの寺にあったものを村人が家に持ち帰って増やしたとされています。その横輪桜の元となった寺を撮影しました。横輪町を象徴する桜であり後世に残していきたい景色として撮影しました。

	旧山田郵便局電話分室
	上山 智子
	(撮影場所) 旧山田郵便局跡
	(撮影理由・想い) 旧山田郵便局電話分室・大正12年がフランス料理店になっています。夕方訪れてゆったりとした赤レンガががすてきでした。

	<h2>春の散歩</h2>
	<h3>城山 綾乃</h3>
	(撮影場所) おはらい町
	(撮影理由・想い) 青空と風情ある町並みと桜が贅沢に楽しめる散歩道だと思いました。

	<h2>雨の外宮参道</h2>
	<h3>高村 勝</h3>
	(撮影場所) 伊勢市本町
	(撮影理由・想い) 7月の夜。雨の中、伊勢市駅から外宮方面へ歩いていました。ふと振り返ると路面に駅の照明や信号などが映り、幻想的な光景でした。

	<h2>冬の月の出</h2>
	<h3>中世古 健吾</h3>
	(撮影場所) 伊勢市二見町江の 二見興玉神社前に見える夫婦岩
	(撮影理由・想い) 夏至の頃に昇る日の出は有名だが冬至から正月に掛けての満月は夫婦岩の中央から昇り神秘的な光景が見られる。

	<h2>大注連縄張替え神事</h2>
	<p>山口 一明</p>
	<p>(撮影場所) 二見町</p>
	<p>(撮影理由・想い) 年3回行われる夫婦岩の注連縄張替え神事、氏子、職員らにより手際よく行われる。</p>

	<h2>散歩道</h2>
	<p>山崎 明彦</p>
	<p>(撮影場所) 浦田駐車場河川敷</p>
	<p>(撮影理由・想い) 桜の季節に浦田駐車場河川敷は、散歩コースとして最適です。</p>

	<h2>天空のポスト</h2>
	<p>山本 理恵</p>
	<p>(撮影場所) 朝熊山頂展望台</p>
	<p>(撮影理由・想い) 真っ青な空と真っ赤なポストのコントラスト。</p>

	<h2>道</h2>
	<p>福森 悠季子 (宇治山田商業高校 2年)</p>
	<p>(撮影場所) 五十鈴川周辺</p>
	<p>(撮影理由・想い) 歴史を感じる落ちついた道でいい場所だと思ったからです。</p>

	<h2>神宮神田</h2>
	<p>山本 瑞貴 (宇治山田商業高校 3年)</p>
	<p>(撮影場所) 神宮神田</p>
	<p>(撮影理由・想い) 黄金色に輝くイセヒカリとそれを見守る古い建物を写した。</p>